

デュロキセチンカプセル「フェルゼン」 を服用される患者さんにご家族の方へ

デュロキセチンカプセル「フェルゼン」は、神経伝達物質であるセロトニン及びノルアドレナリンの量を調節して、うつ病・うつ状態を改善したり、長く続く痛みを和らげる作用があります。

服用方法

- 1日1回朝食後に、主治医に決められた量を服用してください。服用量は20mgから始め1週間以上の間隔を空けて20mgずつ徐々に増量されます。症状を改善するためには、決められた量のお薬を継続して服用することが大切です。
- このお薬は痛みがある時のみ服用するお薬ではなく、継続して服用することにより痛みを和らげる効果があらわれます。また、効果があらわれるまでの期間には個人差があるため、主治医の指示に従い服用してください。
- カプセルはあけたりせず、そのまま服用してください。
- 中止するときは主治医と相談しながら、少しずつ服用量を減らしていきます。このお薬は、体調が良くなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせり、頭痛、吐き気などの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

服用中は下記の点にご注意ください

- 飲み始めてから1～2週間は、眠気や吐き気などの副作用があらわれることがあります。自然に治まってくることもあり、気になる場合は主治医にご相談ください。
- めまいやふらつきにより転倒することがありますので、これらの症状を感じたら早めに主治医または薬剤師にお伝えください。
- 自動車の運転などが必要な場合は、主治医にご相談ください。眠気、めまいなど、自動車の運転に影響を与える症状があらわれることがあるので、注意してください。また、これらの体調不良を自覚した場合は、絶対に運転しないでください。特にお薬の飲み始め、飲む量を変えたとき、他のお薬から変えた際にこれらの症状があらわれやすいため、主治医より運転などをしないように指示があった場合は指示を守ってください。

- 痛み止めとして用いられている非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) には、消化管出血の副作用が知られており、本剤と一緒に使用される場合はリスクが高まる可能性があります。気になる症状があれば、早めに主治医または薬剤師にご相談ください。
- 肝機能、心拍数、血圧に影響を与えることがありますので、血液検査、脈拍数や血圧測定が行われることがあります。

〔糖尿病性神経障害に伴う痛みの治療の場合〕

- この薬は、糖尿病治療薬ではないため、糖尿病の治療を併せて受けてください。
- 血糖値やヘモグロビンA1cに影響を与えることがありますので、糖尿病治療薬の量を調整されることがあります。

その他、気になることや分からないことがある場合、主治医または薬剤師にご相談ください。

患者さんご家族の方へ

うつ病等、精神科の病気で治療されている場合、精神科の病気の症状に影響を与える可能性がありますので、服用前に主治医にお伝えください。

● 患者さんへ

- ・ 飲み始めや飲む量が変わったときに、イライラして落ち着かなくなったり、生きるのがつらいと感じたり、消えてしまいたいという気持ちになったり、場合によっては死にたいという気持ちになったりすることが、患者さんによってはまれにあらわれることがあります。
- ・ 不安になる、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの症状があらわれることがあります。
- ・ このような症状がある場合、主治医にご相談の上、必要に応じて精神科／心療内科の受診をご検討ください。

● ご家族の方へ

患者さんのこれらの症状に気づかれた場合、患者さんご本人かご家族の方から早めに主治医にご連絡ください。



販売元

株式会社フェルゼンファーマ

札幌市中央区北10条西24丁目3番地

製造販売元

DAITO 日イト株式会社

富山県富山市八日町326番地